

皆様こんにちは。

山口県教職員団体連合会委員長の山本純です。

まず、先日の記録的豪雨によりお亡くなりになった方に謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

岩国市立周北小学校が大きな被害を受けたという情報を会員の方からいただき、7月10日(火)に周北小学校の清掃のお手伝いをしてきました。2学期には子供たちが元気に登校し、いつも通りに授業を受け、給食を食べられるようになることを祈念いたします。

さて、まもなく子供たちは夏季休業に入ります。以前は「学校の先生は子供がいないから夏休みなんでしょ。いいですね。」と言われることがありましたが、実際は研修や出張が多く、心と身体を休めるゆとり(夏休み)はありません。教員の勤務実態調査の中間まとめが公表され、働き方改革が声高に叫ばれていますが、諸会議や分会訪問等で聞かせていただいた会員の皆様の声は、「働き方改革とはどこの話?」「仕事は逆に増えているけど…」という趣旨のものが非常に多く(改善されたという声が多かったわけではないですが、悲しいかな、極わずかでした。)、その現状を県教委交渉等でしっかりと県教委に伝え、改善を求めていかなくてはと強く思いました。

先月の発送でお知らせしましたように、7月23日(月)14:00から今年度最初となる県教委との交渉を行います。また、翌月8月27日(月)には専門部交渉(特別支援教育部 10:00～、養護教員部 13:00～、学校事務職員部 14:40～、栄養教諭・学校栄養職員部 16:20～)も行います。是非、会場に足を運んでいただき、一人でも多くの方に直接現場の声を県教委に届けていただきたいと思います。当事者の声には迫力があります。「〇〇は良かった。」「△△によって非常に業務が煩雑になってしまっている。」「◆◆のため、人がいない。」等、思いを伝えに来てください。

繰り返しますが、まもなく子供たちは夏季休業に入ります。教職員は子供たちが夏季休業に入っても、色々としなければならない業務に追われることと思います。しかし、年休を取得することは権利です。日頃なかなか年休を取って心と身体のリフレッシュができないのですから、この夏季休業中に是非年休を取り、家族と過ごす時間をもったり、趣味に没頭したりする等、心と身体のリフレッシュを図っていただきたいと思います。

梅雨明けし、夏本番を迎えるにあたり、会員の方々におかれましては、熱中症等、健康にはくれぐれもお気を付けください。

平成30年7月

山口県教職員団体連合会(県教連)

委員長 山 本 純